

ELMO の映写機が眠る箱の中で
夢の数を数えて
互いのフォーカスが逸れてしまってから
現像したフィルムに

狭い坂道で猫に振られてる無邪気な姿が
たった 8mm の幅の隙間へ染み着いていた

青写真がブルーフィルムになった
君の顔もマワセなくなりました
青写真がブルーフィルムになって

狭い坂道で猫に振られてる無邪気な姿が
たった 8mm の幅の隙間へ染み着いていた

青写真がブルーフィルムになった
君の顔もマワセなくなりました
青写真がブルーフィルムになって

青写真がブルーフィルムになった
君の顔もマワセなくなりました
青写真がブルーフィルムになって

一つ目の角であつたと別れ
二言目にはグチを言う
三つ子の魂 百八つの煩惱

あたいの事 話してもいいかな
なんもいらなからさ
ちょっと付き合っよ

四ッ谷で乗り換えおかしな街へ
あたいは流れ着いた
五つまで経っても変わらない街さ

睦み事はそりゃやメらんないし
七面倒な事もある

八当たりで済みゃ
どこも極楽さ
九（ここ）の街もこれまでかな

一つ目の角であつたと別れ
二言目にはグチを言う
三つ子の魂 百八つの煩惱

一つ目の角であつたと別れ
二言目にはグチを言う
三つ子の魂 百八つの煩惱

屍の上で河豚を喰え

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

春風を翻し 来ぬ人が囁いた
耳元でポツリ 世迷事の科白を
あの頃と変わらずの穏やかなまま

屍の上で河豚を喰え
踏み締めた犠牲味わえ

屍の上で河豚を喰え
踏み締めた犠牲味わえ ほら

押し寄せる喜びは
分かつ程少ないが
沁み入る深さなら 千尋の谷より
思い出す高さなら 新高山よ

屍の上で河豚を喰え
踏み締めた犠牲味わえ ほら

戦もて散りぬ 彼の人の方が
あの頃と変わらずの健やかなまま

屍の上で河豚を喰え
踏み締めた犠牲味わえ
屍の上で河豚を喰え
踏み締めた犠牲味わえ ほら

シニシストのモンタージュ

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

ピストル弾いて夜の間隙を闊歩する
名前の無い殺し屋足跡一つ残さず

スレ違いザマに僕の急所を撃ち抜いて
脳裏に焼き付けたあの娘に似てる面影

嗚呼 探し出して自前のワルサーで
嗚呼 撃つ返してやりたいのに行方不明

殺人許可証 携えたシニシストの君が
長い睫毛（まつげ）の銃口をまた誰かに向ける

嗚呼 罪と罰が互いを操作して
嗚呼 嘘だらけのモンタージュで指名手配

殺人許可証 携えたシニシストの君が
長い睫毛の銃口をまた誰かに向ける
殺人教唆を嗾（けしか）けるシニシストの君が
長い睫毛の銃口をまた誰かに向ける

躰の中には蒼い風が吹く
知らない男の顔を憶えても
あと何回感じたまま過ごせるなら満足かな

カプセル一つの永い夢を見て
眩しい朝日に殺意憶えても
動かさない真実なら飲み込むのが現実だな

変わり始めた風向きに気が付いたら
あげつらいせずに笑おう

躰の中には蒼い風が吹く
知らない男の顔を憶えても
あと何回感じたまま過ごせるなら満足かな

躰の中には蒼い風が吹く
知らない男の顔を憶えても
カプセル一つの蒼い夢を見て
眩しい朝日に殺意憶えても

あと何回感じたまま過ごせるなら満足かな
動かさない真実なら飲み込むのが現実だな

風恐れ見よ 空虚な身を見よ

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

風恐れ見よ 空虚な身を見よ
裁きが下る御身

芽生えを知る 岩の肌に
山の命浴びる時に

風恐れ見よ 空虚な身を見よ
裁きが下る御身

流れ尽きぬ 滝の糸に
果てへ辿る 道の中に

風恐れ見よ 空虚な身を見よ
嵐の様 誇りは糧
裁きを下す御身

オモチャ箱

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

ひっくり返した箱の中
とっちらかっているお気に入り
タップが合うような音楽で
ラップをキめてしまいたい気分さ

ほったらかしでもいじらしく
ニッコリできるそれぞれに
ちょっとやさっとじゃ許せない
勝手な僕のお詫びです

一つ一つづつ
構うには無理があって
許しを乞うような
資格が僕になくなって

だけど心の中に

ひっくり返した箱の中
とっちらかっているお気に入り
タップが合うような音楽で
ラップをキめてしまいたい気分さ

ラララ ...

シワだらけの 26\$ を片手に
佇む私を置いて消えたあの人
sexy boy you know?

待ちくたびれて後にする駅のホームで
シワだらけの私を誘った理由を
sexy boy you know?

チャイナタウンじゃ当たり前的事だろうけど
普通じゃないあなたの口先三寸
sexy boy you know?
sexy boy you know?

とっぱらっちまったら何が言えるか
酔っぱらっちまっても言えないことが
とっぱらっちまったら何が言える

やんなくちゃいけない事があっても
チラチラするから捗らなくて
嫌だな 怖いな こんな事
続けばそのうちダメになる

とっぱらっちまったら何が言えるか
酔っぱらっちまっても言えないことが
とっぱらっちまったら何が言える

ハインラインの言葉も無力化する
暖めつづけた僕の声さ
好きだよ好きだよだからほら
今すぐこの場で打ちのめして

とっぱらっちまったら何が言えるか
酔っぱらっちまっても言えないことが
とっぱらっちまったら何が言える

今ではこうして唄を歌い
身軽な独りを楽しんでる
プライド片手に恋をして
搦んだものまでこぼれ落ちて

とっぱらっちまったら何が言えるか
酔っぱらっちまっても言えないことが
とっぱらっちまったら何が言える

何が言える

変拍子奏で

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

話しかけてみたよ この街にほら
風が吹いて 吹き飛ばして

変拍子ばかり奏でさせる
冷たい目が僕を震わし

つまらない顔ばかりしてて
期待外れって感じだから
僕なりの楽しませ方でいくよ

ルサンチマン

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

過去に埋没されてた一粒種のルサンチマン
枕元に付けばお手上げ
悲しい所蝕む括約筋のトランポリン
空の彼方飛んで失せたら

盗聴された君の秘密の癖七つ全て
生き写しの姿で彷徨

飢餓の海峡横断震える下でタンブリング
メダル一つ受けてホクホク
嬉しい遊び嗜む自縄自縛のサンジェルマン
帝国魂滅び何処行く

豊胸された僕の秘密の胸軽く揉んで
吊るし上げてても無理は無い
紅潮してた君の冷たい頬 指で撫でる
だけど容れない訳があって ゴメンね

僕にくれた手紙なら 早々火の中へ
鍵を掛けた部屋の中 少々手を焼かす
上に下に忙しいサービス旺盛な
裏のそれが何なのか不可解ですからね

過去に埋没されてた一粒種のルサンチマン
枕元に付けばお手上げ
悲しい所蝕む括約筋のトランポリン
空の彼方飛んで失せたら

紅潮してた君の冷たい頬 指で撫でる
だけど容れない訳があって ゴメンね

僕にくれた手紙なら 早々火の中へ
鍵を掛けた部屋の中 少々手を焼かす
上に下に忙しいサービス旺盛な
裏のそれが何なのか不可解ですからね

僕にくれた手紙なら 早々火の中へ
鍵を掛けた部屋の中 少々手を焼かす
上に下に忙しいサービス旺盛な
裏のそれが何なのか不可解ですから
不可解ですから 不可解ですからね

Fade of mine

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

聴き取り不能の為割愛致します。

今宵 箆口令 逃げまどう
上弦の月が
そして戒厳令 降り下ろす
無慈悲の極みがほぞを噛む

そこは 神の御名の罷（まか）る淵

今宵 箆口令 犇（ひし）めいた
退廃の街が
黙る戒厳令 勝ち誇る
足りない頭で鉄を振る

あれは 神の御名の罷る淵
神の御名の罷る淵

ハルノウタ

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

波の果てで途絶えた やましい祈りも
それで伝わるのなら苔がむしても うたふよ

春の唄 あの日だまりに微睡んだ昨日
夏の唄 蝉時雨なら木漏れ日だけ
秋空は抜けて 澄み渡り
冬枯れの道に 晴れやかに
吹き抜ける風も 氷点下

道を急ぐ僕らが 焼け跡に火を付けた
灰とススで艶かしい顔ぶれ見て

足踏みを止めずに 逸る気を押し殺す
口先なら言えるのに歯がゆい

先人との距離が
見上げる迄の茜雲
つま先の向く方へ行けば
踵の後には跡があると

ハイテクなメタポルノに
曝された女の子の皮膚さ
裂け目からのペネトレーション
後ろ前交えて
犯されても箱の中
そこに住む主

僕を刻むアーティストは
リバプールで泳いで
かくもシュールな絵空事
書き残して夢の中

走査線の上でアリア
辿るけれど幻覚見てた
引け目のない伽藍堂は
右左塞いだ
殺されても無理のない
そこに住む主

僕を刻むアーティストは
リバプールで泳いで
かくもシュールな絵空事
書き残して夢の中

アナキストの三毛猫
白い首に鎖を巻き
縦のリズムに腰を振る
耳障りな贗作
服を着せられたモノクロネズミ
トリップして踊り出す
ナショナリズムも手玉に取る
コマーシャルリズムのアイドル

I saw the Light

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

when I wake up early morning
if my head god inside
learn about a sing a ring smackwater Jack

a few goodman wasn't Germany
but he's a plasticman

I saw the Lights

everybody think a lazy
I don't mind think I'm crazy
turn to a little blood'n flated house
across the river whither whip
progress a tiny toon

I saw the Lights

I saw the Lights

イングリッド

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

気まぐれな猫がいて僕の手爪立てる
痛く無いのに血がにじんで弾けた
我が儘なその彼が唯一のつながりで
ささやかだけど口実をくれるよ

降りしきる雨なら
君の见えないこの憂鬱
吹き飛ばすような
出来事の前触れを笑う

ブラウスの隙間から覗いた白い肌に
あられもない妄想ばかり増える
控えめな笑顔から垣間見る唇の
奥に隠したブリッジが十年後の

艶やかな未来を約束してるホントの事さ
見た事あるだろうカサブランカのイングリッドバーグマン
そうだからの君の瞳に Cheers
ハンフリーボガートの気障な科白が僕にも言える
その時が来たなら話せるだろう as time goes bye
そうさだからの君の瞳に Cheers

迷探偵現ワル

song & lyrics / ワタナベヤスフミ

足音二つ聞こえて 振り返る夜道に
鳥打ち帽も目深の さだめし名探偵

待ち合わせしたカフェエに 待ち飽きたあなたと
耳打ちをして飛び出す 渾沌の遊園地

恋人のように振舞ってみて
欺こうよ街を

答えを隠しとおせば 僕らの勝ちでしょう
ふたりの仲が ホントの嘘の関係なら